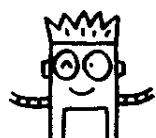


よしだしょういん 吉田松陰は、どんな人だったの



そのうじょういん えいきょう
尊王攘夷を説き、多くの人に影響をあたえたため、
あんせい たいごく しけい
「安政の大獄」で死刑にされた学者だよ。

吉田松陰は1830年に、ちょうしゅう 長州（山口県）藩士はんしの杉百合之助すぎゆりのすけの次男として、萩はぎで生まれました。7歳さいのとき、おじの家をついで、吉田大次郎と改名しました。吉田家は軍学者いえがらの家柄だったので、兵術ほうじゆつや砲術を学びながら育ちました。

だつぱん つみ 脱藩の罪で、武士の身分を取り上げられた

1851年に江戸で、軍学者の佐久間象山に入門しました。同年末、東北地方のようすを調べるため、藩の許可を待たずに、旅に出ました。よくねん 翌年、藩を抜け出した罪で、武士の身分を取り上げられましたが、藩主の思いやりで、学問の旅に出ることを許されました。そのころ、松次郎に改名し、松陰の号を名のりました。

かんたい みつこう ペリーの艦隊で密航しようとして、失敗した

1853年、ペリーの艦隊が来航した浦賀うらがで、幕府の役人のだらしなさを見ると、「急いで軍艦ぐんかんをつくり、西洋の砲術を取り入れ、国が一つにまとまる体制をつくる必要がある」と、説いて回るようになりました。翌年、佐久間象山さくましやうざん（開国を主張した学者）のすすめで、下田に停泊中のペリーの軍艦に小舟を乗りつけ、乗せていってくれるように頼みましたが、ことわれました。

しょうかそんじゆく 松下村塾を開き、尊王攘夷の講義をしたが、死刑にされた

その後、江戸・萩で牢屋らうやに入れられ、1856年から、杉家のやしき内に閉じこめられました。翌年、ここで松下村塾を開き、藩士に尊王攘夷の講義をしました。生徒には、高杉晋作たかすぎしんさく・山県有朋やまがたありとも・伊藤博文いとうひろぶみらがいます。1858年に幕府が、幕府のやり方に反対する人たちへの弾圧だんあつを始めると（安政の大獄）、松陰も捕らえられました。翌年、江戸で死刑にされ、30歳で一生涯を終えました。